

 シリーズ「きょうだいの思い」 30

## 『しんどい時期』

振り返ってみると、弟が二十歳前後の頃は、今まで書いてきたように、窓ガラスを割って救急車に乗ったり、初めての発作や、ダンパーの交通事故、パニックの日々…等々、断片的に弟と関わる私でさえ、様々なことがあった時期だと思いつくことができる。

現在、周囲の若い世代の自閉症の人の様子を見聞きする時に、姉の立場で弟の二十代の時期を見てきた経験と重ね合わせて、本人はもちろん家族も「しんどい時期」を過ごしているのだろうと、どうしても想像してしまう。

私は、当時のことを“大変な時期”とは表現できない。ありきたりな言葉で「色々あって大変な時期でした」と言えばいいのだろうが、大変だと思える気持ちのゆとりなんてなかった。


あの当時を振り返って甦る感情は、ただただ「しんどい」の一言に尽きる。

しんどい時期を経験してから、家族の中で、とりわけ母と私の会話では、弟のことを「調子がいい」「調子が悪い」という言葉で表すようになった。

これは体調云々の意味ではなく、弟が精神的に落ち着いているかどうか…の意味合いである。

誤解や批判を恐れずに言うと、私は「調子がいい、悪い」の表現は、身内に障がい者を持つ家族や、障がい者に関わる支援者の、全ての人に通じるものではないと思っている。

やはり自閉症を持つ家族、その中でもパニックがある自閉症を持つ家族、また自閉症の特性をよくわかっている支援者にしか通じない表現なのだと実感している。


 まえほ  
 つうしん  
 前穂通信

|     |   |
|-----|---|
| 発行日 | 2014年9月1日   |
| 発行元 | 自立センター前穂<br>〒569-1022<br>高槻市日吉台<br>1番町21-18<br>072-689-8600 |


 天候の悪化に伴うお願い

今夏は台風や豪雨、急激な天候の悪化が多発しており、高槻市内におきましても地域により一時避難などの状況になっております。

それによりショートやガイドの予定変更等が起きております。ご利用時間の変更や、各種警報などによるご利用見合わせなど、これまで通り安全を第一に考えて進めてゆきたいと存じますので、ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

また、皆様お住まいの地域での、豪雨や河川の氾濫等十分お気を付け頂きますようお願い申し上げます。

 知的ガイドヘルパー養成講座開催のお知らせ

人材の養成及び、障がい(児)者の社会参加促進の一環として知的移動支援従業者養成研修の定期的な実施に取り組んでおります。8月も数名のガイドヘルパーが研修を終了しており、次回は11月の予定です。2日間の研修での資格取得となり、お知り合いなど、ご興味をお持ちの方、ご一報お待ちしております。